

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

◆実施日 令和3年12月29日

◆評価確定日 令和4年3月29日

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月 29日 (13:30～ 14:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 松澤主任 高井副主任 貝森志子 加賀愛美
嶋森あみ 澤田看護師 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	1人	3人	10人

前回の改善計画
 長期的な泊まりサービスを利用されている方の家族、または遠方に居られる家族に対しても、より情報交換や意見交換する場を設けていく。本人と家族の意向に相違がある場合の対応について、「本人を支えるため」の支援内容を明確にし、本人・家族の両者が満足できるサービスを提供できるように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
 長期的な泊まりサービスを利用されている方の家族や遠方に居られる家族に対して、定期的に電話連絡し現状の報告や意見交換等を行い情報交換に努めた。日々変化する支援内容を随時考案し、本人・家族の望む暮らしに近づけるように努力した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	6	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	1	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	7	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	2	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用開始前に計画作成担当者がアセスメント実施し、本人のADLや生活状況について聴き取りし課題分析票を作成。その課題分析票をもとに、ミーティング開催しサービス利用開始前に職員間で情報共有し周知している。サービス利用開始時に、まずは必要な支援が何であるかを意向やニーズから汲み取り、必要な支援を提供している。通い利用の予定をしていたが、急な通いキャンセル(やっぱ行きたくない等)の場合には、訪問サービスに切り替え、関係性の構築に努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 職員によって、情報量に把握に個人差がある。
 また、利用開始当初の対応に関しても声掛けや気遣いの部分で、不十分と感じている職員も数名いる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 チーム全体で、本人・家族の望む暮らしを理解し情報共有する。サービス利用開始時の関わり方を重要視し、不安や混乱の中にいる登録者に対して職員間で連携を図り、訴えを汲み取り安心して利用できるような環境作りを構築していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月 29日 (13:30～ 14:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 松澤主任 高井副主任 貝森志子 加賀愛美
嶋森あみ 澤田看護師 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	0人	10人

前回の改善計画
本人の目標については、毎月のモニタリングカンファレンスを通して、各職員が理解を深めるように今後も継続していく。日々の関わり方については、目標に沿ったケア提供や関わりができる様に、異動してきた職員に対しては指導や助言を徹底して行く事と、ミーティングの場では発言しやすい場作りになるように、さらなる見直しをしていく。結果として、日々の関りから新しい対応についても随時実施できるように努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
毎月のモニタリングカンファレンスを通して、各職員が日々の関りで思う事や気付いたことを発言し、新たな対応について話し合い実行できている。介護計画書に関しても、小規模多機能型居宅介護計画により細かな支援内容を提示しており、各職員が確認する体制を作っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	3	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	3	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	3	1	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7	1	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月、登録者一人ひとりの介護計画書を確認し、本人・家族の意向や目標について把握できるようにしている。本人・家族の意向や目標についても毎月確認し、日々の関りを大切にしている。関りから発見した変化に関して、カンファレンスやミーティングで話し合う場を設けている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
昨年同様、今年度異動してきた職員の中には日々の関りが薄く、変化に気付く力が不十分と感じている職員もいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
本人の目標やゴールに関しては、今後もモニタリングカンファレンスを活用しながら、全職員が周知した上で本人と関りを持てるように継続していく。また、関りの中で小さな変化に気付けるように「気づきの力」を養っていきたいと思う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月 29日 (13:30～ 14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 松澤主任 高井副主任 貝森志子 加賀愛美
嶋森あみ 澤田看護師 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	3人	1人	10人

前回の改善計画	「以前の暮らし方について」は、課題分析票を定期的に見直し確認する作業を定着できるように努めていくことで、以前の暮らし方を把握し本人のこれまでの暮らしを可能な限り継続できるように支援して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	「以前の暮らし方」については、利用開始前に課題分析票を作成しておりそこから把握できるようになっているが、情報量に個人差がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	2	4	2	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	5	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	2	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	6	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	2	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の状況に合わせた介護については、介護技術委員会（食事・排泄・入浴委員会）を立ち上げ、毎月委員会を開催し現況確認と見直しを実施し、個々に応じたケアの提供に努めている。 本人の声にならない思いや気持ちを汲み取り寄り添えるように、本人立場になって支援するように努めている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 「以前の暮らし方」については、アセスメントの際に本人・家族からの聴き取りを行い課題分析票にこれまでの暮らし方について記載はしているものの、周知力に個人差がある。「以前の暮らし方」を知る事の重要性が欠けているためと思われる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) その方を知る為、その方の望む暮らしを理解する為、「以前の暮らし方」を知る必要があり重要な点である事を再認識し、職員間での個人差を無くし関りを保てるように努力する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月 31 (13:30 ~ 14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松澤主任 虻川知穂 佐藤正子 澤田看護師
金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	5人	3人	10人

前回の改善計画	前回の改善計画でもあった民生委員について、包括支援センターより情報を頂き把握できるように努めていく。地域資源の活用についても情報収集していき、地域とともに生活を継続できる支援体制を構築していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	民生委員の把握に関しては、ごく少数しか把握しておらずまだまだ不十分である。地域資源の活用に関しても、限られた物しか活用しておらず、情報量も足りていない状況にある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	5	3	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	4	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	4	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	6	3	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事前面談の際に、これまでの暮らしぶりや人間関係について聴き取りし課題分析票に記載する事で、情報共有に努めている。その中で、家族や親族または地域住民の方の支援を継続して受けられ関係性が途切れないように、それぞれの役割も確認している。また細目に情報共有・交換している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
民生委員の把握に関しては、現在1名の方しか把握できていない。毎年課題に挙がっているものの、積極的な行動に移せていない。地域資源に関しても、現在活用している物のみの把握となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
包括支援センターへの積極的な働きかけを実行し、民生委員の把握や地域資源の情報を入手する。ご家族や地域との関係性を維持し、事業所での関りも持ちながら充実した生活が送れるように努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月 31 (13:30 ~ 14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松澤主任 虻川知穂 佐藤正子 澤田看護師 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	0人	1人	8人	10人

前回の改善計画	今後の新型コロナウイルスの動向によるが、状況が落ち着いた際は、近隣地区のサロンや認知症カフェ、地域行事に参加し地域との関わりを保ちながら生活が継続できるように支援して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域に出向き地域住民と交流する機会を設ける事ができない状況であった。最低限、馴染みの床屋へは外出し関わりを保っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	2	5	3	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	1	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	5	1	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	6	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
その日、その時の本人の状態やニーズに合わせ、また家族のニーズに合わせた支援を提供できるように日々努めている。「通い」「訪問」「宿泊」サービスの利用に関しても、計画通りまたは急な要望に関しても可能な限り対応し、ニーズに合わせた柔軟な対応を図っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の資源を使い、地域と協働した支援については、今年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から実施できていない。ADLの低下や家族の介護力の問題から、長期的な泊まりを希望される方が多くなるケースがあるが、その時の利用状況によっては長期的な泊まりを提供できない時もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域との関わりに関しては、今後の感染症の動向をみながら再開できるようにしていく。長期的な泊まりが必要となった場合は、他事業所との連携を図りグループホームや特養へのスムーズな入所に移行できるように努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 4 日 (13 : 30~14 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 松澤主任 高井副主任 虻川知穂 加賀愛美
武田佳代子 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	0 人	1 人	9 人	10 人

前回の改善計画	今後の新型コロナウイルス感染の動向によるが、感染が落ち着いた際は、地域のイベントに積極的に参加して行く事や、事業所でボランティアや地域住民の方々を積極的に受け入れる事で、地域に開けた事業所作りに取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から各会議や活動が全面的に中止となっており参加できていない。事業所としても感染予防の観点からボランティアの受け入れや活動等を自粛している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	1	7	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	0	10	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	0	10	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	0	10	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前や退院前には、各専門職（医療・介護・福祉用具担当者）が集まり、今後どのように支援していくか担当者会議を適宜開催している。（新型コロナウイルス感染予防の観点から会議は中止し、電話でのやり取りや書面での確認となった時もあった）。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から各会議や活動が全面的に中止となっており、事業所としても感染予防の観点からボランティアの受け入れや活動等を自粛している。 担当者会議については、開催しているものの会議に出席している職員が一定の職員のみである為、職員の捉え方で上記結果となっている。周知力の不足。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後の新型コロナウイルス感染の動向によるが、感染が落ち着いた際は、地域のイベントに積極的に参加して行く事や、事業所でボランティアや地域住民の方々を積極的に受け入れる事で、地域に開けた事業所作りに取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月4日 (13:30~14:30)

7. 運営

メンバー 松澤主任 高井副主任 虻川知穂 加賀愛美
武田佳代子 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	1人	4人	10人

前回の改善計画
「ご意見箱」の設置継続や、利用者・家族からの意見や要望に今後も可能な限り応えていくことで、事業所の質の向上を図っていく。また、事業所のより良い環境作りのために、職員自らが意見を提案し話し合う場を設け個人差を軽減できるように努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
登録者・ご家族から相談毎があった際は、真摯受け止め対応している。「ご意見箱」の設置は継続しており、いつでも投函できるようにしているが、コロナの景況で事業所を訪れる方がいないため活用はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	3	2	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	2	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	2	2	6	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	3	6	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
苦情はあがっていないが、意見や相談事にはその都度対応し改善または対応している。 地域と協働した取り組みでは、法人で実施しているボランティア活動(年末大掃除、年末弁当配布、除雪等)へ各職員が参加し、地域貢献している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所玄関へ「ご意見箱」を設置しているが、前期同様に意見や苦情等は確認できていない。 今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、運営推進会議も書面での情報提供となっており、改めて意見交換をする場を設けていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「ご意見箱」の設置継続や、利用者・家族からの意見や要望に今後も可能な限り応えていくことで、地域に必要とされる事業所を構築していく。運営推進会議も、オンライン会議等の検討が今後必要になると思われる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 5日 (13:30 ~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松澤主任 虻川知穂 加賀愛美 佐藤正子 武田佳代子 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2人	3人	5人	10人

前回の改善計画	今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、外部の研修への参加については消極的であった。今後の感染状況にもよるが、職場外研修への参加も検討しながらスキルアップを図っていく。包括支援センターとの連携も継続し、地域に必要とされる事業所になるように努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修参加に関しては、リモート研修の活用を図ったが一部の職員のみ参加となっている。包括支援センターとは随時連携を図り、地域で困っている方の紹介を受けサービス利用へ繋げている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	0	3	3	4	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	2	5	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	0	10	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	3	2	3	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①については、各委員会が中心となり事業所内で各研修会を開催し職員のスキルアップに繋げている。また法人内での研修会も実施しており、職能レベルに応じた研修会に参加している。また職場外研修では、リモート研修へ参加している。毎月事故防止検討委員会を開催し、ヒヤリ・事故報告書の把握や研修会も開催しリスクマネジメントに取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会が確立されておらず、参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職場内研修では、研修内容も毎年見直し多方面から情報を入手して、各職員が積極的に参加できる研修会を開催していく。職場外研修も、リモート研修を取り入れ多職種が参加していき、スキルアップを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 5日 (13:30 ~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松澤主任 虻川知穂 加賀愛美 佐藤正子 武田佳代子 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	5人	3人	10人

前回の改善計画
成年後見制度について、現在実施している研修内容を見直し職員の周知を図る事で、今後成年後見制度を活用される登録者があった際は、スムーズに対応できるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
成年後見制度について研修会は開催し理解を深めたものの、職員によって個人差が大きいため、研修会の開催回数を増やしたり、より分かりやすい内容での研修会を開催し学習する必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	3	7	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	2	0	8	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②については、定期的に委員会を開催している他、研修会も開催し職員の理解を深めている。③④についても、研修会を開催し学習を深めている。研修会を通し、職員の行動で一つで個人情報は簡単に漏洩してしまうことを再確認し、プライバシーの保護に努めている。相手の立場になって常に行動するように、目標を掲げ取り組んでいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④について、現在成年後見制度を活用している登録者がおらず活用していない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
各委員会、研修会を通じて職員の意識や知識の向上が今後も必要である。登録者一人ひとりの置かれている環境や立場を理解し、日々の支援にあたるように今後も継続して取り組む必要がある。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 比内ふくし会	代表者	理事長 佐藤 剛	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人比内ふくし会は、特養・ショートステイ・デイサービス・グループホーム・訪問介護・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等、幅広く事業を展開しており、心のこもった介護や看護、機能訓練、食事の提供に努めている他に、共に助け合い、励まし合っていく人間関係を大切にしながら、利用される方々のことを常に中心に考える事業の運営に心掛けています。 みずきの家では、住み慣れた地域で生活し続けられるよう登録者やご家族の思いに沿ったサービスの提供に努めています。
事業所名	みずきの家	管理者	金谷 晴美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	8人

※出席者については、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、会議は中止し文書での評価となっている。

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、サービスの質の向上に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度もコロナ禍での事業運営となったが、事業所内での活動や職員の研修・委員会を開催し、サービスの質の向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響により、情報収集やイベント等の実施が難しい中、出来る範囲で取り組みが行われていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もコロナ禍を前提とした、事業運営を考案していく必要がある。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 図書コーナーや観葉植物の活用の継続により、居心地の良い環境作りに徹していく。また、今年度事業所外へテラスを設置している為、今後は登録者や地域の方々に活用してもらい快適な生活を送って頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で活動が制限される中、事業所外へ設置されたテラスを活用してのティータイムや交流は、リフレッシュ効果もあり好評であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議に添付した資料(写真)より、事業所内は居心地の良い空間となっていると思われる。 工事車両、大型車の出入りが多いと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防対策として、玄関先への体表温度検知カメラ・アルコールの設置・喚起の実施等、引き続き環境整備が必須となる。 観葉植物や季節の花々を置き、癒しの空間作りを継続していく。 施設の敷地内で工事が行われており、大型車の出入りが多かった。ご家族へも注意喚起が必要であった。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、地域交流を実施し地域との絆を大切にしている。 民生委員や福祉委員の情報収集に努め、必要時に協働してもらう事で、登録者を地域全体で支えていける体制を構築している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域との関わり(行事等)はほぼ中止となった。ボランティアの受け入れも中止している。 包括から地域で困っている方の相談を受け、利用に繋げる等連携体制はできているが、民生委 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍ではあるが、事業所内での行事を頑張っていると思われる。 ご家族や地域住民代表者からは、困りごとや心配事があった際に相談しやすいといった評価を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、包括との情報共有や連携体制を保ち、地域で困っている方や相談のある方へ積極的に関わっていき、地域に必要とされる事業所を展開していく。

	く。	員や福祉委員の活用等で社会資源の情報収集が未だ不足している。		
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域連絡会等の実施はないが、地域包括支援センター主催の会議等へ参加していくことで地域の現状と課題を理解していくことで、登録者の方々が今後も地域において安心した暮らしができるようサポートしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域連絡会の開催は無い。 地域に出向いた活動としては、感染予防を講じて花見や紅葉ドライブへ出掛け、地域との繋がりを維持している。 法人で取り組んでいるボランティア活動（除雪、年末配食、年末大掃除等）へ参加し、利用者以外の方とも関わりを持った。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で外出が難しい中、テラスでのティータイムや畑作り、花見、紅葉ドライブを実践しリフレッシュを図っているのが確認できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、地域に出向いた活動を行い、地域住民との交流を図る他、事業所を知ってもらえる場も作っていく。 包括主催の会議等がある際は情報を頂き、参加の検討をしていくことで地域での現状や課題を把握していく。 今後も職員の積極的なボランティア活動に努めていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 実際に相談を受けて、サービスの利用につながった登録者のサービス利用前と利用後の心身の変化や満足度について会議内で報告する機会を設け、それぞれの視点から意見をいただく。このことで、サービスの質向上に努めていきたい。 事業所内で開催した内部研修の報告を行い、提案や助言をいただき職員のスキルアップにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、運営推進会議を中止し文書での情報提供（利用状況や地域活動等）をしてきた。 事業所内での内部研修は実施し、研修資料や研修の結果についても報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も書面でのやり取りとなったが、取組等を文書から把握することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で困っている方の情報を、包括以外からも取り入れて行けるように、運営推進会議で発信していく。今後もコロナの影響で、会議ではなく文書でのやり取りとなった場合は、資料配布時に情報交換できるように努めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民へ今後も声を掛け、各訓練に参加していただくことで両者の理解と危機意識向上につなげていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 同敷地内にある特養やグループホームとの合同訓練を実施し、近隣住民へも参加して頂くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所での訓練の実施が不明である。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の場で、訓練内容についての報告を行い理解を深め頂く。今後もコロナの影響で、会議ではなく文書でのやり取りとなった場合は、活動内容を資料に添付する事で周知を図る。

